

青森市の都市構造可視化

～i-都市再生を目指して～



青森市 都市政策課

i-都市交流会議2020

1

1.庁内におけるウェブサイトの普及

都市構造可視化計画ウェブサイトについて、課内でツールの操作方法や分析事例等の情報共有を行い、現在、策定中の都市計画マスタープラン等への活用を検討した。



課内打合せの様子①
(操作方法や分析事例等の情報共有)



課内打合せの様子②
(操作方法や分析事例等の情報共有)

i-都市交流会議2020

2

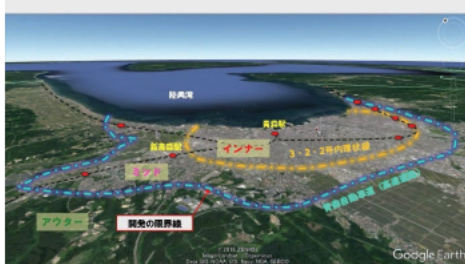
2.行政視察やインターンへの説明資料へ活用①

行政視察の説明資料において、都市構造可視化計画ウェブサイトを活用し、本市の都市構造や人口分布等のデータを掲載した。



行政視察の説明資料への掲載①
(都市構造の説明)

コンパクトシティを形成する都市構造の基本的な考え方



都市構造可視化計画
<https://visuoka.city>



行政視察の説明資料への掲載②
(人口分布の説明)

2.行政視察やインターンへの説明資料へ活用②

行政視察の説明資料において、都市構造可視化計画ウェブサイトを活用し、本市の都市構造や人口分布等のデータを掲載した。



行政視察の説明の様子



インターンの説明の様子

3.都市計画情報のオープン化①

- ・都市計画情報の照会対応件数（窓口・電話・FAX）は年間で、3,500件程度あり、一定程度、職員の対応時間が割かれている状況であった。
- ・他自治体では、都市計画の情報をGISシステムにて公開している事例があり、本市でも同様のシステムがないか問い合わせを受けることがあった。



【既に庁内で行っていた取組】
青森市営バス情報・市民バスについて
「Googleマップ」の経路検索サービスに
対応

Googleマップのマイプレイス機能を活用して、本市の主な都市計画をお知らせするサイトを作成

3.都市計画情報のオープン化②

これまで、本市では、用途地域等の都市計画情報をGIS等で公表するシステムがなかったため、Googleマップのマイプレイス機能を活用して、本市の主な都市計画をお知らせするサイトを作成し公表した。

青森都市計画区域の主な都市計画の掲載内容	
・都市計画区域	・用途地域
・都市計画道路	・都市計画公園
・地区計画	・臨港地区
・高度利用地区	・特別用途地区
・防火地域及び準防火地域	

4. 今後の活用方法

- ・ 現在、策定を進めている都市計画マスタープランの検討会議等での活用
- ・ 都市計画基礎調査のオープン化のツールとして活用
 - 現在2D（GIS）で管理している土地用途・建物用途等のデータを3D化
- ・ 庁内で管理しているデータのオープン化のツールとして活用
 - 今後公表を予定している大規模盛土造成地マップや、改正後の洪水ハザードマップ等の防災分野との連携

青森市の紹介

都市の紹介

- 平成17年 4月1日 新青森市スタート
- 平成18年10月1日 中核市へ移行
- 人 口 282,061人（平成31年4月1日現在）
- 世帯数 136,456世帯（同 上）
- 地 勢 面積約825 km²



陸奥湾と東岳・八甲田連峰・梵珠山など自然に擁かれた都市
※ 十和田八幡平国立公園など

- 産 業 商業・流通業等3次産業（就業者の約8割）に特化した都市

